

2026年度

鍼灸学研究科

保健医療学研究科

学 生 募 集 要 項

明治国際医療大学大学院

アドミッション・ポリシー

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 修士課程】

鍼灸医学の学術に高い関心を持つ人を求める。さらに、

- ①高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ②科学的に究明しようとする研究心旺盛な人
- ③研究や臨床に粘り強く課題に取り組むことができる人
- ④鍼灸臨床において、より高度な専門性の修得を志向する人を求める。

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 修士課程〔通信教育課程〕】

鍼灸医学の学術に高い関心を持つ人を求める。さらに、

- ①高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ②科学的に究明しようとする研究心旺盛な人
- ③研究や臨床に粘り強く課題に取り組むことができる人を求める。

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 博士後期課程】

鍼灸医学の学術と推進に高い関心を持つ人を求める。さらに、

- ①高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ②科学的に究明しようとする研究心旺盛な人
- ③研究や臨床に粘り強く課題に取り組むことができる人
- ④鍼灸学領域における研究と教育において、より高度な専門性の修得を志向する人を求める。

【保健医療学研究科 柔道整復学専攻 修士課程】

柔道整復学に高い関心を持つ人を求める。さらに、

- ①高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ②科学的に究明しようとする研究心旺盛な人
- ③研究や臨床に粘り強く課題に取り組むことができる人
- ④柔道整復領域における研究と教育において、より高度な専門性を志向する人
- ⑤海外での活躍を志向する人を求める。

【保健医療学研究科 保健学専攻 修士課程】

保健学とヘルスプロモーションの推進に高い関心を持つ人を求める。
さらに下記の人材を求める。

- ①高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ②健康課題を科学的に究明しようとする研究心旺盛な人
- ③研究や教育、保健活動の課題に粘り強く取り組むことができる人
- ④保健学領域における研究と教育において、より高度な専門性を志向する人
- ⑤新たな知見が得られる研究を企画実施し、成果を社会に公表できる人
- ⑥住民、患者や行政等と協働して新規の保健施策・事業を企画実施評価できる人
- ⑦研究成果を地域の健康課題の解決や保健医療福祉システムの構築に実装できる人
- ⑧住民、患者や多職種と協働して健康で安心安全な街づくりを推進できる人
- ⑨プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを推進できる人
- ⑩海外で研究者、教育者、保健医療専門職として活躍を志向する人

【保健医療学研究科 保健学専攻 博士後期課程】

保健学とヘルスプロモーションの推進に高い関心を持ち、それらの学としての発展に寄与する研究課題の探究と研究成果の社会実装に貢献する“グローバルヘルスリーダー”となる人材を希求する。
さらに下記の人材を求める。

- ①高い倫理観と人を思いやる心を持ち、人との融和を大切にする人
- ②潜在する健康課題を科学的に予測し究明しようとする研究心旺盛な人
- ③課題解決のために研究や教育、保健活動に粘り強く取り組むことができる人
- ④保健学領域における研究と教育において、より高度な専門性を志向する人
- ⑤新たな知見が得られる先駆的な研究を企画実施し、成果を社会に公表できる人
- ⑥住民、患者や行政等と協働して新規の保健施策・事業を企画実施評価できる人
- ⑦斬新な研究成果を課題解決や保健医療福祉システムに応用し実装できる人
- ⑧先端の研究成果を世界に発信し、グローバルヘルスリーダーを志向する人
- ⑨住民、患者や多職種と協働し研究成果に基づく先進健康地域を創生できる人
- ⑩潜在的な課題を予見し、予防的に保健活動や健康施策を企画し推進する人
- ⑪国内外で研究者、教育者、保健医療専門職、起業家として活躍を志向する人

目 次

I 修士課程 概要

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 / 鍼灸学専攻〔通信教育課程〕】

1. 専攻の目的	1
2. 修業年限	1
3. 専攻分野・研究内容	1
4. 履修方法	1
5. 修了要件および授与される学位等.....	2
6. 教育課程および専攻分野別 履修一覧表・特別研究テーマ.....	2～5

【保健医療学研究科 柔道整復学専攻】

1. 専攻の目的	6
2. 修業年限	6
3. 履修方法	6
4. 修了要件および授与される学位等.....	6
5. 教育課程および履修一覧表・特別研究テーマ.....	7

【保健医療学研究科 保健学専攻】

1. 専攻の目的	8
2. 修業年限	8
3. 履修方法	8
4. 修了要件および授与される学位等.....	8
5. 教育課程および履修一覧表・特別研究テーマ.....	9～10

II 修士課程 募集要項

1. 募集人員	11
2. 出願資格	11
3. 試験日程等	12
4. 選考方法	12～13
5. 受験に関する注意事項	13～14
6. 出願手続き	14～16
7. 合格発表	16
8. 入学手続き等	16～17
9. その他	18

Ⅲ 博士後期課程 概要

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻】

1. 専攻の目的	19
2. 修業年限	19
3. 専攻分野・研究内容	19
4. 履修方法	19
5. 修了要件および授与される学位等.....	20
6. 教育課程および専攻分野別 履修一覧表・特別研究テーマ.....	20～21

【保健医療学研究科 保健学専攻】

1. 専攻の目的	22
2. 修業年限	22
3. 履修方法	22
4. 修了要件および授与される学位等.....	22
5. 教育課程および専攻分野別 履修一覧表・特別研究テーマ.....	22～23

Ⅳ 博士後期課程 募集要項

1. 募集人員	24
2. 出願資格	24
3. 試験日程等	25
4. 選考方法	25～26
5. 受験に関する注意事項	26～27
6. 出願手続き	27～28
7. 合格発表	28
8. 入学手続き等	28～29
9. その他	29

試験会場案内.....	30
-------------	----

入学資格審査実施要項.....	30～31
-----------------	-------

I 修士課程 概要

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 / 鍼灸学専攻〔通信教育課程〕】

1. 専攻の目的

鍼灸学専攻は、伝統鍼灸学、鍼灸基礎医学、鍼灸臨床医学及び健康予防鍼灸学の各分野における研究者としての資質及び研究能力を養うことを目的とします。

2. 修業年限

標準修業年限は2年です。

3. 専攻分野・研究内容

専攻分野は、Ⅰ. 伝統鍼灸学 Ⅱ. 鍼灸基礎医学 Ⅲ. 鍼灸臨床医学 Ⅳ. 健康予防鍼灸学 の4つに区分します。

Ⅰ. 伝統鍼灸学分野

医学古典や東洋医学の理論、経絡経穴学、四診法、伝統鍼灸学の治療法などに関する専門的な知識を学修するとともにそれらに関する研究を行う分野です。東洋医学の基礎、伝統鍼灸学などに関する特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究において上記の研究課題を追究します。

Ⅱ. 鍼灸基礎医学分野

形態学、機能学、免疫学に関する専門的な知識を学修するとともに鍼灸刺激の生体反応とその機序解明に関わる研究を行う分野です。形態学、機能学、免疫・生化学、基礎鍼灸学（鍼灸理論や鍼灸技術）の特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究において鍼灸刺激の生体反応およびそれらの作用機序などを追究します。

Ⅲ. 鍼灸臨床医学分野

鍼灸臨床と深く関わる疾患や症候に関する専門的な知識を学修するとともにそれらに対する鍼灸治療の臨床効果とその機序解明に関する研究を行う分野です。内科学、整形外科、外科学、内科系臨床鍼灸学、整形外科系臨床鍼灸学、外科系臨床鍼灸学の特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究において上記の研究課題を追究します。

Ⅳ. 健康予防鍼灸学分野

スポーツ鍼灸、予防・未病医学、美容鍼灸、産業鍼灸・高齢鍼灸などの鍼灸医学の応用領域に関する専門的な知識を学修するとともにそれらの領域における鍼灸の有効性に関する研究を行う分野です。健康鍼灸学、スポーツ鍼灸学、加齢鍼灸学の特論（講義）、演習、研究法を学修し、特別研究においては上記の研究課題を追究します。

4. 履修方法

1) 研究分野の選択（通信教育課程を除く）

はり師・きゅう師の免許を有する者は、すべての専攻分野の選択が可能です。なお、はり師・きゅう師の免許を有しない者は、取得している免許、学位等に応じた専攻分野の選択が可能です。

2) 単位の修得

必修科目24単位ならびに研究法2単位以上、演習4単位以上を選択必修し、合計30単位以上を修得しなければなりません。

5. 修了要件および授与される学位等

1) 修了要件

修士課程の修了要件は、在学年数2年以上、授業科目の取得単位数30単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格することとします。

2) 学 位

上記1. の要件を満たした者に対し、修士（鍼灸学）の学位を授与します。

3) 資 格

本研究科を修了した者は、はり師・きゅう師の学校（養成施設）における専門基礎分野および専門分野に関する科目の教員資格が認められています。ただし、教授できる授業科目については、原則として専攻した分野に関連する領域となります。

6. 教育課程および専攻分野別 履修一覧表・特別研究テーマ

〔鍼灸学専攻 修士課程〕

科目区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単 位 数	分 野				備 考
				伝 統 鍼 灸 学	鍼 灸 基 礎 医 学	鍼 灸 臨 床 医 学	健 康 予 防 鍼 灸 学	
				必 修	必 修	必 修	必 修	
基盤科目	統合医療学特論	1	1	1	1	1	1	
	研究計画法特論	1	2	2	2	2	2	
	医療英語講読特論	1	1	1	1	1	1	
	データ解析学特論	1	2	2	2	2	2	
	英語プレゼンテーション学特論	1	1	1	1	1	1	
専門科目	基礎鍼灸医学	1	4	4	4	4	4	
	臨床鍼灸医学	1	3	3	3	3	3	
	教育学概論	1	1	1	1	1	1	
	鍼灸医学特論	1	1	1	1	1	1	
	伝統鍼灸学研究法	1	2	2				
	鍼灸基礎医学研究法	1	2		2			
	鍼灸臨床医学研究法	1	2			2		
	健康予防医学研究法	1	2				2	
	伝統鍼灸学演習	1・2	4	4				
	鍼灸基礎医学演習	1・2	4		4			
	鍼灸臨床医学演習	1・2	4			4		
	健康予防医学演習	1・2	4				4	
	特別研究Ⅰ	1・2	1	1	1	1	1	
	特別研究Ⅱ	1・2	5	5	5	5	5	
	特別研究Ⅲ	1・2	2	2	2	2	2	
	医療機関実習	1・2	4					自由選択

特別研究テーマ

分野	指導区分	特別研究テーマ	指導担当者
伝統鍼灸学	鍼灸医学系	(1) 東洋医学の基礎理論、診察・治療、養生に関する研究 (2) 経絡（経筋）・経穴に関する基礎的、臨床的研究 (3) 日本の伝統鍼灸に関する調査研究	和辻 直
鍼灸基礎医学	現代医学系	解剖学 (1) 鍼灸刺激による皮膚組織の形態学的変化の研究 (2) 皮膚感覚受容器の機能形態学的研究 (3) 皮膚感覚と運動感覚の連関理解のための機能形態学的研究	榎原智美
		生理学 (1) 鍼灸刺激による機能的変化、特に循環、呼吸、代謝などの植物性機能の変化に関する研究 (2) 運動誘発性酸化ストレスに対する基礎研究	林 知也
		免疫・微生物学 (1) 胸腺の機能・T細胞分化と鍼灸の効果 (2) 鍼灸による生体防御系の調節	糸井マナミ
	鍼灸医学系	フィジカル ・ 治効機序に関する基礎的研究 ブレインメンタル ・ メンタルと脳機能に関する基礎的研究 ソーシャル ・ 社会要因に関する基礎的研究（アンケート調査や教育に関する分野）	福田文彦 齊藤真吾
鍼灸臨床医学	現代医学系	内科学 (1) 内科系疾患の臨床的研究	浅沼博司
		外科学 (1) 外科系疾患の臨床的研究	神山 順
		整形外科学 (1) 運動器系の臨床的研究	糸井 恵
	鍼灸医学系	フィジカル ・ 各疾患（運動器系・内科系・外科系など）に関する基礎的・臨床的研究 ブレインメンタル ・ メンタルヘルス（うつやストレス疾患など）に関する基礎的・臨床的研究 ソーシャル ・ 社会的要因が関連する疾患（慢性疾患・緩和医療など）に関する基礎的・臨床的研究	伊藤和憲 福田文彦
健康予防鍼灸学	鍼灸医学系	フィジカル ・ 運動機能（スポーツやコンディショニング、ロコモティブシンドロームなど）に関する予防的研究（基礎・臨床） ブレインメンタル ・ 脳機能（疲労・不眠・美容など）に関する予防的研究（基礎・臨床） ソーシャル ・ 社会的要因が関連する疾患に関する予防的研究（養生）	伊藤和憲 廣 正基

※特別研究テーマについては、変更となる場合があります。

〔鍼灸学専攻（通信教育課程）修士課程〕

科目区分	授 業 科 目	配 当 年 次	単 位 数	分 野				備 考
				伝 統 鍼 灸 学	鍼 灸 基 礎 医 学	鍼 灸 臨 床 医 学	健 康 予 防 鍼 灸 学	
				必 修	必 修	必 修	必 修	
基盤科目	統合医療学特論	1	1	1	1	1	1	
	研究計画法特論	1	2	2	2	2	2	
	医療英語講読特論	1	1	1	1	1	1	
	データ解析学特論	1	2	2	2	2	2	
	英語プレゼンテーション学特論	1	1	1	1	1	1	
専門科目	基礎鍼灸医学	1	4	4	4	4	4	
	臨床鍼灸医学	1	3	3	3	3	3	
	教育学概論	1	1	1	1	1	1	
	鍼灸医学特論	1	1	1	1	1	1	
	伝統鍼灸学研究法	1	2	2				2 単位以上必修
	鍼灸基礎医学研究法	1	2		2			
	鍼灸臨床医学研究法	1	2			2		
	健康予防医学研究法	1	2				2	
	伝統鍼灸学演習	1・2	4	4 (2)				4 単位以上必修
	鍼灸基礎医学演習	1・2	4		4 (2)			
	鍼灸臨床医学演習	1・2	4			4 (2)		
	健康予防医学演習	1・2	4				4 (2)	
	特別研究Ⅰ	1・2	1	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	
	特別研究Ⅱ	1・2	5	5 (2.5)	5 (2.5)	5 (2.5)	5 (2.5)	
	特別研究Ⅲ	1・2	2	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	医療機関実習	1・2	4					自由選択

単位数欄の（ ）は面接授業による単位数で内数

*スクーリングでは、大学の附属施設等（附属病院、附属鍼灸センターもしくは学内の研究室等）にて、学修・研究を行います。

特別研究テーマ

分 野	指導区分	特別研究テーマ	指導担当者
伝統鍼灸学	鍼灸医学系	(1) 東洋医学の基礎理論、診察・治療、養生に関する研究 (2) 経絡・経穴に関する基礎的、臨床的研究 (3) 日本の伝統鍼灸に関する調査研究	和辻 直
鍼灸基礎医学	現代医学系	解 剖 学 (1) 鍼灸刺激による皮膚組織の形態学的変化の研究 (2) 皮膚感覚受容器の機能形態学的研究 (3) 皮膚感覚と運動感覚の連関理解のための機能形態学的研究	榎原智美
		生 理 学 (1) 鍼灸刺激による機能的変化、特に循環、呼吸、代謝などの植物性機能の変化に関する研究	林 知也
		免疫・微生物学 (1) 免疫学と鍼灸臨床に関する研究	糸井マナミ
	鍼灸医学系	鍼灸基礎医学 フィジカル ・ 治効機序に関する基礎的研究 ブレインメンタル ・ メンタルと脳機能に関する基礎的研究 ソーシャル ・ 社会的要因に関する基礎的研究（アンケート調査や教育に関する分野）	福田文彦 齊藤真吾
鍼灸臨床医学	現代医学系	内 科 学 (1) 内科系疾患の臨床的研究	浅沼博司
		外 科 学 (1) 外科系疾患の臨床的研究	神山 順
		整形外科科学 (1) 運動器系の臨床的研究	糸井 恵
	鍼灸医学系	フィジカル ・ 各疾患（運動器系・内科系・外科系など）に関する基礎的・臨床的研究 ブレインメンタル ・ メンタルヘルス（うつやストレス疾患など）に関する基礎的・臨床的研究 ソーシャル ・ 社会的要因が関連する疾患（慢性疾患・緩和医療など）に関する基礎的・臨床的研究	伊藤和憲 福田文彦
健康予防鍼灸学	鍼灸医学系	フィジカル ・ 運動機能（スポーツやコンディショニング、ロコモティブシンドローム）に関する予防的研究（基礎・臨床） ブレインメンタル ・ 脳機能（疲労・不眠・美容など）に関する予防的研究（基礎・臨床） ソーシャル ・ 社会的要因が関連する疾患に関する予防的研究（養生）	伊藤和憲 廣 正基

※特別研究テーマについては、変更となる場合があります。

【保健医療学研究科 柔道整復学専攻】

1. 専攻の目的

柔道整復学専攻は、体系化された伝統的な柔道整復術の治療機序を理解し、その効果を客観的に分析できる研究能力を有し、その知識や思考過程に基づいた研究を行います。

本学大学院では、仕事に就きながら勉学に励めるよう、オンデマンド型授業、サテライトキャンパス、長期履修学生制度（P. 17 参照）など、社会人が学びやすい環境を整備しています。

2. 修業年限

標準修業年限は2年です。

3. 履修方法

単位の修得

必修科目23単位、専門科目の選択科目から7単位以上、合計30単位以上を修得しなければなりません。

4. 修了要件および授与される学位等

1) 修了要件

柔道整復学専攻（修士課程）の修了要件は、在学年数2年以上、授業科目の取得単位数30単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格することとします。

2) 学 位

上記1.の要件を満たした者に対し、修士（柔道整復学）の学位を授与します。

5. 教育課程および履修一覧表・特別研究テーマ

〔柔道整復学専攻 修士課程〕

科目区分	授 業 科 目	配当 年次	単位数		備 考
			必修	選択	
基盤科目	統合医療学特論	1	1		
	研究計画法特論	1	2		
	医療英語講読特論	1	1		
	データ解析学特論	1	2		
	英語プレゼンテーション学特論	1	1		
専門科目	運動器系構造学特論	1		1	7 単位以上必修
	スポーツ機能学特論	1		1	
	スポーツ医科学特論	1		1	
	スポーツバイオメカニクス特論	1		1	
	スポーツ柔道整復学特論	1		1	
	スポーツ能力計測演習	1		1	
	医療画像解析演習	1		1	
	シニア柔道整復学特論	1		1	
	ジュニア柔道整復学特論	1		1	
	インターンシップ演習	1	2		
	柔道整復学特論	1	2		
	柔道整復学演習	1・2	4		
	特別研究	1・2	8		

特別研究テーマ

	特別研究テーマ	指導担当者
1	工学的アプローチによる運動機能評価法に関する研究	赤澤 淳
2	運動器の解剖学的研究	岡田成賛
3	外科系疾患の臨床的研究	神山 順
4	運動器に対する疼痛と中枢との関連性の研究	児玉香菜絵
5	スポーツ科学・応用健康科学領域におけるパフォーマンス研究	齊藤昌久
6	アスリートの生体機能変化に関する研究	林 知也
7	非侵襲的脳刺激を用いて運動機能改善を試みる研究	吉元拓也

【保健医療学研究科 保健学専攻】

1. 専攻の目的

保健学専攻は、保健学研究に必要な高度な研究能力並びに専門的な研究成果の実装能力を有する人材養成を行うとともに、保健学の科学研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することを目的とします。

本学大学院では、仕事に就きながら勉学に励めるよう、オンデマンド型授業、サテライトキャンパス、長期履修学生制度（P. 17 参照）など、社会人が学びやすい環境を整備しています。

2. 修業年限

標準修業年限は2年です。

3. 履修方法

単位の修得

必修科目28単位、専門科目の選択科目から2単位以上、合計30単位以上を修得しなければなりません。

4. 修了要件および授与される学位等

1) 修了要件

保健学専攻（修士課程）の修了要件は、在学年数2年以上、授業科目の取得単位数30単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格することとします。

2) 学 位

上記1.の要件を満たした者に対し、修士（保健学）の学位を授与します。

5. 教育課程および履修一覧表・特別研究テーマ

〔保健学専攻 修士課程〕

科目区分	授 業 科 目	配当 年次	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
基盤科目	統合医療学特論	1	1			
	研究計画法特論	1	2			
	医療英語講読特論	1	1			
	データ解析学特論	1	2			
	英語プレゼンテーション学特論	1	1			
専門科目	東洋医学概論	1	1			
	東洋医学基礎理論	1		1		
	未病医学特論	1	1			
	予防活動実践学特論Ⅰ	1	1			
	予防活動実践学特論Ⅱ	1	1			
	健康支援実践学特論Ⅰ	1	1			
	健康支援実践学特論Ⅱ	1	1			
	実践疫学特論	1	2			
	保健医療政策学特論	1	1			
	健康危機管理学特論	1		1		
	地域診断コミュニティデザイン学特論	1		1		
	心理コンサルテーション学特論	1		1		
	情報科学活用学特論	1		1		
	ヘルスケア創業経営学特論	1			1	
	特別演習	1・2	4			
	特別研究	1・2	8			

特別研究テーマ

特別研究テーマ	領 域	指導担当者
介護予防・フレイル対策、生活習慣病予防、健康増進、健康政策策定評価等予防活動について	広域看護学	桂 敏樹
地域における在宅療養者とその家族に対する健康支援、及び訪問看護師に必要な資質・能力について	広域看護学	田中小百合
看護職（保健師等）の職務満足度の構成要素と職務満足度に影響を及ぼす要因について	広域看護学	玉井公子
精神看護、精神障がい者への関わり、統合失調症患者への看護について	広域看護学	小西奈美
地域在住高齢者への認知症予防における生理的効果検証・介護予防と運動生理学	広域看護学	栗山真由美
養育者の幼少期の被虐待経験が子どもの養育に及ぼす影響	広域看護学	坪倉浩美
子どもを取り巻く環境による成長発達への影響、保育所看護職の専門性、小児看護について	広域看護学	岩本美由紀
人間工学の視点での看護支援に関する研究	広域看護学	工藤大祐
ストレス、コーピング、精神健康度、学業成績等への実行機能の影響	広域看護学	藤原浩子
災害関連死を減らすための二次避難所構想を基にした災害対応システムの開発：西洋医学・東洋医学の知見から	広域看護学	三谷智子
同種造血幹細胞移植を受けた患者の退院後の社会復帰を含めた療養生活支援について	臨床看護学	今井理香
重症心身障害児（者）病棟で働く看護師の陰性感情のありよう	臨床看護学	原 ひろみ
東洋医学的な観点からの難病に対するアプローチについて	鍼灸学	和辻 直
東洋医学的な観点からの生活習慣病等の予防に対するアプローチについて	鍼灸学	廣 正基
地域住民やアスリートの運動・動作がパフォーマンスに及ぼす効果について	柔道整復学	齊藤昌久
シニア世代が抱える運動機能障害へのアプローチについて	リハビリテーション医学	木村篤史
地域防災の観点からの水難事故生還技術を活用した豪雨災害避難行動と実践的防災訓練について	救急救命学	木村隆彦
地域・学校における救命時の救急蘇生法の教育・普及について	救急救命学	千田いずみ
病院外心停止記録、救急搬送人員記録、救急に関する意識調査等のデータを用いた蘇生科学研究	救急救命学	平出 敦

Ⅱ 修士課程 募集要項

1. 募集人員（修業年限2年）

研究科名	専攻名	募集人員
鍼灸学研究科	鍼灸学専攻	4名
	鍼灸学専攻 (通信教育課程)	16名
保健医療学研究科	柔道整復学専攻	3名
	保健学専攻	6名

(注) 入学定員にかかわらず、本大学院の目的および趣旨に鑑み成績・人材等が相応しくない者は入学を許可しません。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により、大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本大学院の個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳以上の者

(注) 上記(8)(9)に基づき出願を希望する者は、あらかじめ本学入試事務室までお問い合わせください。なお、本大学院において入学資格審査の実施を希望する者は、指定された期日までに当該審査の受審申請が必要です(P.30参照)。

【鍼灸学専攻（通信教育課程）】

原則として、はり師・きゅう師の資格を有し、鍼灸などの医療、またはそれに相当する社会での実務経験を2年以上有する者

通信教育課程では、専修学校、短期大学等でははり師、きゅう師の免許を取得した後、実務経験（教員養成課程での就学期間を含む。）を2年以上有している方には、審査の上、受験資格を認めています。

【柔道整復学専攻】

柔道整復師免許を有する者、または2026年4月取得見込みの者が望ましい。

3. 試験日程等

1) 試験日程・会場

試験区分	出願期間（消印有効）	試験日	試験会場
一 次	2025 年 10 月 1 日(水) ～10 月 9 日(木)	2025 年 10 月 18 日(土)	明治国際医療大学 〔京都府南丹市〕
二 次	2026 年 2 月 18 日(水) ～ 2 月 27 日(金)	2026 年 3 月 7 日(土)	

【鍼灸学専攻（通信教育課程）】

事前エントリーについて

通信教育課程の出願に際しては、事前エントリーが必要となります。以下の方法により、期間内にエントリーを行ってください。

試験区分	エントリー期間
一 次	2025 年 6 月 2 日(月)～ 8 月 1 日(金)
二 次	2025 年 10 月 20 日(月)～12 月 19 日(金)



入試概要へ

- ①上記の QR コードより、本学ホームページへアクセスし、「研究課題についての調査票（本学所定用紙）」をダウンロードする。
- ②必要事項を記入の上、入試事務室（admission@meiji-u.ac.jp）宛にメール送信する。

※ご不明な点がある場合は、入試事務室（0771-72-1188）までご連絡ください。

2) 合格発表・入学手続締切日

試験区分	合格発表	入学手続締切日
一 次	2025 年 11 月 4 日(火)	2025 年 11 月 18 日(火)
二 次	2026 年 3 月 13 日(金)	2026 年 3 月 23 日(月)

4. 選考方法

筆記試験、口頭試験の結果を総合して合否を判定します。

1) 科目・配点

試験科目等	専攻	出題領域	配点
専門科目	鍼灸学専攻	専門基礎分野(基礎医学・臨床医学) 専門分野(基礎鍼灸学・臨床鍼灸学)	100点
	鍼灸学専攻 (通信教育課程)		
	柔道整復学専攻	専門基礎分野(基礎医学・臨床医学) 専門分野(柔道整復学理論)	
	保健学専攻	基礎分野(基礎医学) 専門分野(公衆衛生学・保健学・看護学・救急救命学・ スポーツ医学・東洋医学)	
外国語	英語（辞書持込み可）		100点
口頭試験	すべての分野からの試問		100点

※1【鍼灸学専攻/鍼灸学専攻（通信教育課程）】

「専門科目」は、「基礎医学」から2問、「臨床医学」「基礎鍼灸学」「臨床鍼灸学」から各1問の計5問が出題され、そのうち2問を選択のうえ解答してください。

【柔道整復学専攻】

「専門科目」は、「基礎医学」「臨床医学」から3問中1問、「柔道整復学理論」から2問中1問を選択のうえ解答してください。

【保健学専攻】

「専門科目」は、「基礎分野」から2問、「専門分野」から6問の計8問が出題され、そのうち2問を選択のうえ解答してください。

※2 外国語の試験で持込み可能な辞書は、和英・英和・英英・医学英語辞書に限ります。

以下の条件をすべて満たした場合のみ、電子辞書の使用を許可します。

- ・電子辞書の持込みを希望する者は、事前申請を行ってください。
- ・申請書により事前申請した電子辞書のみ使用を認めます。
申請書には電子辞書の「メーカー名」「商品名」「型番」を明記し、写真を貼付してください。
電子辞書は通信機能、翻訳機能、スキャン機能のないものに限ります。
- ・申請期限は、受験する試験日の出願締切日（消印有効）とします。

なお、次の条件を満たす場合は、「外国語」を免除します。

「外国語」免除基準

資格・検定試験	スコア
ケンブリッジ英語検定	140 以上
実用英語技能検定	1950 以上
GTEC	960 以上
IELTS	4.0 以上
TEAP	225 以上
TEAP CBT	420 以上
TOEFL iBT	42 以上
TOEIC L&R/S&W	1150 以上

※利用できる英語資格・検定試験の種類は1つのみとします。

※資格・スコア取得を証明する書類（実施団体が証明する正式文書のコピー）を提出してください。

※出願期間のいずれかの日が、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内にあるものに限ります。

※英語4技能検査の判定を用いる際は、4技能すべてが評価されているものに限ります。TOEIC L&R/S&W については、TOEIC S&W のスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。GTEC は、OFFICIAL SCORE CERTIFICATE を提出してください。

2) 試験時間

9:50～10:00	10:00～11:00	11:20～12:20	13:10～※
受験上の説明	専門科目	外国語	口頭試験

※口頭試験の開始時間は、予告なく変更する場合があります。

5. 受験に関する注意事項

■受験票について

受験票は、Post@net からダウンロード・印刷してください。試験日・試験会場・志望専攻などの記載事項を確認のうえ、必ず試験当日に持参してください。スマートフォン等端末での受験票提示では受験できません。

■試験室への入室

- (1)「受験上の説明」開始10分前までに入室してください。
- (2)試験開始後20分を経過すると入室できません。また、途中退室はできません。

■試験時の注意

- (1)試験時間中に机の上に置けるもの

①受験票 ②黒鉛筆および鉛筆キャップ ③シャープペンシル ④プラスチック製の消しゴム

- ⑤鉛筆削り（電動式・大型のものを除く） ⑥時計（辞書・電卓・端末等の機能がないもの）
 ⑦眼鏡 ⑧ハンカチ ⑨目薬 ⑩ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）
 ⑪和英・英和・英英・医学英語辞書（外国語試験時のみ・電子辞書は申請者に限る）

(2) 試験時間中に使用できないもの

- ①定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む） ②コンパス ③電卓 ④そろばん
 ⑤下敷きやグラフ用紙等の補助具 ⑥筆箱 ⑦電子辞書 ⑧携帯電話 ⑨スマートフォン
 ⑩スマートウォッチ・スマートグラス ⑪IC レコーダー・イヤホン等の電子機器類

■不正行為について

以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と判断された場合は、その場で受験の中止と退出を命じ、それ以後の受験はできません。また、受験した試験区分の成績を無効とし、入学検定料の返還はいたしません。原則として、当該年度における全ての入学試験の受験を認めません。

- (1) カンニング（試験時間中に、カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見ることや、他の人から答えを教わる等）をすること
- (2) 試験監督者の試験開始の指示の前に、問題冊子を開き、解答を始めること
- (3) 試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- (4) 試験時間中に、使用が認められていない用具を使用して解答すること
- (5) 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を身につけている、または机の上に置いていること
- (6) 試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと
- (7) 他の受験者に答えを教える等、カンニングの手助けをすること
- (8) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- (9) 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること
- (10) 試験室において、他の受験生の迷惑となる行為をすること
- (11) その他、試験の公平性を損なう行為をすること

■その他

- (1) 試験会場が本学の場合、試験当日は、JR 桂川駅・阪急桂駅からの直通バスは運行していません。JR 等公共交通機関を利用のうえ来場してください。
 JR の運行状況により、途中の園部駅にて車両の切り離しが行われ、乗り換えが必要な場合があります。また、鍼灸大学前駅では、降車の際に限られた車両のドア（先頭車両の一番前のドア）しか開閉されない場合がありますので、車内放送に十分注意してください。
- (2) 口頭試験はオンラインで行う場合があります。
- (3) 悪天候や交通機関の乱れ等で遅刻等が予測される場合や、急な発熱等により受験できない場合には、速やかに入試事務室（TEL 0771-72-1188）までご連絡ください。
- (4) 不測の事態により大学で対応措置を講じる場合には、Post@net に登録されたメールアドレスに連絡します。
- (5) 会場入口付近等で、賃貸マンションのパンフレット類等が配られていることがありますが、本学とは一切関係ありません。

6. 出願手続き

1) 出願書類等

【鍼灸学専攻・柔道整復学専攻・保健学専攻】

書 類 等	摘 要
受 験 者 調 査 票 [本学所定用紙]	本学所定用紙にて作成してください
履 歴 書 [本学所定用紙]	本学所定用紙にて作成してください
成 績 証 明 書	出身学校長作成のもので開封無効
卒業（見込）証明書	出身大学において作成したもの

長期履修学生申請書 [本学所定用紙]	長期履修学生制度を申請する者は、必要事項を記入の上、指導教員の面談を受け、押印を受けてください
電子辞書持込申請書 [本学所定用紙]	電子辞書の持込みを希望する者は、必要事項を記入し提出してください
資格・スコア取得を 証明する書類	英語資格・検定試験のスコアを利用する者は、実施団体が発行する正式文書のコピーを提出してください ※出願期間のいずれかの日が、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内にあるものに限り ※英語 4 技能検査の判定を用いる際は、4 技能すべてが評価されているものに限り ※GTEC は、OFFICIAL SCORE CERTIFICATE を提出してください
そ の 他	入試事務室で必要と認める書類

※本学所定用紙は、Post@netからダウンロードしてください。

※外国籍者については、在留資格を確認できる書類（在留カードまたは入国査証の写しのいずれか）を提出すること

【鍼灸学専攻（通信教育課程）】

書 類 等	摘 要
研究課題についての 調査票 [本学所定用紙]	研究したい内容を記入し、事前エントリー時に提出してください
履 歴 書 [本学所定用紙]	本学所定用紙にて作成してください
成 績 証 明 書	出身学校（鍼灸系）の学校長作成のもので開封無効
卒 業 証 明 書	出身大学（専門学校）において作成したもの
研 究 計 画 書 [本学所定用紙]	指導教員と面談のうえ合意のもと、研究課題に対する研究内容等の計画について、2,000字程度にまとめること ワードプロソフト等を使い、A4版縦型横書きで作成すること（手書きは不可）
はり師・きゅう師 免許証写し	免許証のコピー（A4版に縮小）を提出してください
長期履修学生申請書 [本学所定用紙]	長期履修学生制度を申請する者は、必要事項を記入の上、指導教員の面談を受け、押印を受けてください
電子辞書持込申請書 [本学所定用紙]	電子辞書の持込みを希望する者は、必要事項を記入し提出してください
資格・スコア取得を 証明する書類	英語資格・検定試験のスコアを利用する者は、実施団体が発行する正式文書のコピーを提出してください ※出願期間のいずれかの日が、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内にあるものに限り ※英語 4 技能検査の判定を用いる際は、4 技能すべてが評価されているものに限り ※GTEC は、OFFICIAL SCORE CERTIFICATE を提出してください
そ の 他	入試事務室で必要と認める書類

※本学所定用紙は、Post@netからダウンロードしてください。

※外国籍者については、在留資格を確認できる書類（在留カードまたは入国査証の写しのいずれか）を提出すること

2) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ(<https://www.meiji-u.ac.jp>)へアクセスし、
手続きを行ってください。
詳細は、別紙「インターネット出願ガイド」をご参照ください。



出願サイトへ

窓口での提出

出願書類一式を市販の封筒(角2サイズ)に入れ、本学入試事務室受付まで持参してください。
【受付時間】 午前10:00～午後4:00まで(土・日・祝を除く)

3) 入学検定料 30,000円

7. 合格発表

1) 合格発表

合否発表については、WEBによる合否結果照会サービスを利用して行います。
合格者には、合格発表日(P.12)に、「選考結果通知書」および「入学手続書類」を郵送します。
※不合格者には郵送による通知は行いません。
※電話や窓口でのお問い合わせには応じられません。

2) WEB(パソコン・スマートフォン)による合否結果の照会方法

- ・合格発表日の午前10時から3日後まで利用できます。
- ・Post@netへログインし、「出願内容一覧」より明治国際医療大学の「合否結果照会」を選択してください。

※合否結果照会サービスについての注意事項

- ・発表開始直後はWEBが繋がりにくいことがあります。その場合は少し時間をずらして再度照会してください。
- ・「合否結果の見間違い」「システムの誤操作」等に対して、本学は一切責任を負いません。

8. 入学手続き等

1) 入学手続き

1. 合格された方は、各試験の入学手続締切日までに必要書類を提出し、学納金を納入してください。
また、学納金について、ご相談がある場合は入試事務室(0771-72-1188)までご連絡ください。
2. 学納金の納入および必要書類の提出を確認した後、「入学許可書」を送付いたします。

2) 学納金

項 目	1年次 所要経費		2年次 所要経費	
	入学手続時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	200,000 円	—	—	—
授 業 料	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円
計	600,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円

※学校法人明治東洋医学院の設置する学校の出身者には、入学金を免除します。

その他諸費

項 目	鍼灸学専攻 柔道整復学専攻 保健学専攻	鍼灸学専攻 (通信教育課程)	備 考
教育振興会費	20,000 円	20,000 円	入学時のみ
学生教育研究災害傷害保険料	1,790 円	140 円	
通信教育システム管理・維持費	—	50,000 円	毎年度徴収

※その他諸費は予定であり変更となる場合があります。

3) 奨学金制度等

1. 日本学生支援機構

	第一種奨学金(無利息貸与)	第二種奨学金(有利息貸与)
貸与月額	50,000円または88,000円	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

(2025年4月1日現在)

2. ティーチングアシスタント (T A) 制度

本学大学院では、在籍する優秀な大学院生を対象に、教育的配慮のもと学部教育・研究の充実及び指導者としてのトレーニングの機会の提供を目的に、学部学生に対する実験・実習等の教育補助業務を行う、ティーチングアシスタント (T A) 制度を設けています。

従事者には、手当を支給し、大学院生の経済的支援を行っています。

4) 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限である2年間では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、最長4年間（保健学専攻は3年間）で計画的に教育課程を履修し、修了する制度です。

本制度の利用を希望する場合は、出願時に所定の手続きが必要となります。所定の手続きを経て認められた場合に、修業年数を3年とする履修コース(3年制コース)または4年とする履修コース(4年制コース)を選択することができます。なお、長期履修学生の学納金は、次のとおりとします。

【3年間の長期履修の場合】

項 目	1 年次 所要経費		2 年次以降 所要経費	
	入学手続時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	200,000 円	—	—	—
授 業 料	300,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円
計	500,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円

※学校法人明治東洋医学院の設置する学校の出身者には、入学金を免除します。

【4年間の長期履修の場合】

項 目	1 年次 所要経費		2 年次以降 所要経費	
	入学手続時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	200,000 円	—	—	—
授 業 料	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
計	400,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円

※学校法人明治東洋医学院の設置する学校の出身者には、入学金を免除します。

その他諸費

項 目	鍼灸学専攻 柔道整復学専攻 保健学専攻	鍼灸学専攻 (通信教育課程)	備 考
教育振興会費	20,000 円	20,000 円	入学時のみ
学生教育研究災害傷害保険料	1,790 円	140 円	
通信教育システム管理・維持費	—	50,000 円	毎年度徴収

※その他諸費は予定であり変更となる場合があります。

5) 入学辞退の取扱い

入学手続きを完了された後に入学を辞退する場合は、2026年3月23日(月)までに入試事務室へ連絡のうえ、所定の手続きを行ってください。入学金を除く学納金を返還します。

9. その他

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意してください。
- (2) 一旦提出された出願書類及び納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。
- (3) 本学大学院に入学を志願する方のうち、障がいの有する方で受験上または就学上の配慮を必要とする方は、出願開始日の2週間前までに本学入試事務室までご相談ください。なお、出願開始日以降に事故等により受験上または就学上の配慮が必要となった方は、速やかに本学入試事務室までご連絡ください。
- (4) 学生募集要項に関して、ご不明な点がある場合には、本学入試事務室までお問合せください。

Ⅲ 博士後期課程 概要

【鍼灸学研究科 鍼灸学専攻】

1. 専攻の目的

鍼灸学研究科博士後期課程は、鍼灸医学分野について、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の専門的な業務に従事するに必要な能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とします。

2. 修業年限

標準修業年限は3年です。

3. 専攻分野・研究内容

専攻分野は、Ⅰ. 伝統鍼灸学 Ⅱ. 鍼灸基礎医学 Ⅲ. 鍼灸臨床医学 の3つです。

Ⅰ. 伝統鍼灸学分野

医学古典や東洋医学の理論、経絡経穴学に関する研究、四診法に関する研究、伝統鍼灸学の臨床などに関する教育、研究を行う分野です。東洋医学基礎、伝統鍼灸学などに関する特論（講義）、演習、特別研究を行い、東洋医学の基礎分野の科学化および臨床に関する科学的根拠を追究します。

Ⅱ. 鍼灸基礎医学分野

鍼灸医学の基礎を教育、研究する研究分野です。形態学、機能学、免疫・生化学などに関する特論（講義）、演習、特別研究を行い、鍼灸刺激の生体反応とその作用機序などを追究します。

Ⅲ. 鍼灸臨床医学分野

疾患や症候に対する鍼灸治療の臨床効果とその科学的根拠、予防医学・健康維持増進に関する鍼灸治療の効果とその科学的根拠などに関する教育、研究を行う分野です。現代医学、予防医学、伝統鍼灸学、臨床鍼灸学、健康鍼灸学、スポーツ鍼灸学、加齢鍼灸学などに関する特論（講義）、演習、特別研究を行い、鍼灸治療の科学的根拠あるいは臨床効果の作用機序を追究します。

4. 履修方法

1) 研究分野の選択

はり師・きゅう師の免許を有する者は、すべての専攻分野の選択が可能です。なお、はり師・きゅう師の免許を有しない者は、取得している免許、学位等に応じた専攻分野の選択を可能とします。

2) 単位の修得

特論2単位、演習2単位、特別研究8単位、合計12単位以上を修得しなければなりません。

5. 修了要件および授与される学位等

1) 修了要件

博士後期課程の修了要件は、在学年数3年以上、授業科目の取得単位数12単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することとします。

2) 学 位

上記1.の要件を満たした者に対し、博士（鍼灸学）の学位を授与します。

3) 資 格

鍼灸学研究科を修了した者は、はり師・きゅう師の学校（養成施設）における専門基礎分野および専門分野に関する科目の教員資格が認められています。ただし、教授できる授業科目については、原則として専攻した分野に関連する領域となります。

6. 教育課程および専攻分野別 履修一覧表・特別研究テーマ

〔鍼灸学専攻 博士後期課程〕

分 野	授 業 科 目	授業を行う年次	単位数	伝統鍼灸学	鍼灸基礎医学	鍼灸臨床医学
				必修	必修	必修
伝統鍼灸学	伝統鍼灸学特論	1	2	2		
	伝統鍼灸学演習	1	2	2		
	伝統鍼灸学特別研究	1・2・3	8	8		
鍼灸基礎医学	鍼灸基礎医学特論	1	2		2	
	鍼灸基礎医学演習	1	2		2	
	鍼灸基礎医学特別研究	1・2・3	8		8	
鍼灸臨床医学	鍼灸臨床医学特論	1	2			2
	鍼灸臨床医学演習	1	2			2
	鍼灸臨床医学特別研究	1・2・3	8			8

特別研究テーマ

分 野	指導区分	特別研究テーマ	指導担当者
伝統鍼灸学	鍼灸医学系	(1) 伝統理論に基づく鍼灸学の診察・治療の実証的研究 (2) 経絡(経筋)・経穴に関する実証的(臨床的)研究 (3) 伝統理論に基づく養生の実証的(臨床的)研究	和辻 直
鍼灸基礎医学	現代医学系	解 剖 学 (1) 鍼灸刺激による皮膚組織の形態学的変化の研究 (2) 皮膚感覚受容器の機能学的・形態学的研究	榎原智美
		生 理 学 (1) 鍼灸刺激が身体運動に与える影響に関する研究 (2) 鍼の特異的效果に対する機能学的検証	林 知也
		免疫・微生物学 (1) 胸腺とT細胞機能への鍼灸の効果 (2) 鍼灸によって誘発される因子を介する免疫系調節機構	糸井マナミ
	鍼灸医学系	(1) 治効機序に関する基礎的研究 (2) メンタルと脳機能に関する基礎的研究 (3) 社会要因に関する基礎的研究(アンケート調査や教育に関する分野)	福田文彦 齊藤真吾
鍼灸臨床医学	現代医学系	内 科 学 (1) 内科系疾患の臨床的研究	浅沼博司
		外 科 学 (1) 外科系疾患の臨床的研究	神山 順
		整形外科学 (1) 運動器系の臨床的研究	糸井 恵
	鍼灸医学系	(1) 痛みの病態や鍼灸の治効機序に関する基礎的・臨床的研究 (2) 痛みの予防(養生・セルフケア)に関する基礎的・臨床的研究 (3) 身体的・心理的ストレス誘発性の生理的变化に対する鍼灸の作用と機序 (4) トリガーポイント(筋筋膜疼痛症候群)に関する基礎的・臨床的研究 (5) 月経痛および月経不順に対する鍼灸刺激の効果と機序 (6) 更年期障害の症状および生理的变化に対する鍼灸刺激の効果と機序 (7) 心の病(メンタルヘルス)に対する鍼灸刺激の効果とその機序に関する基礎的・臨床的研究 (8) 緩和医療における鍼灸刺激の効果とその機序に関する基礎的・臨床的研究	伊藤和憲 福田文彦
		(1) 各疾患に対する鍼灸刺激(治療)の予防的効果に関する基礎的・臨床的研究 (2) スポーツ傷害に対する基礎的・臨床的研究 (3) 美容に関する基礎的・臨床的研究 (4) 不眠・疲労に関する基礎的・臨床的研究	廣 正基

※特別研究テーマについては、変更となる場合があります。

【保健医療学研究科 保健学専攻】

1. 専攻の目的

保健学研究に必要な高度な研究能力ならびに専門的な研究成果の実装能力を有する人材養成を行うとともに、保健学の科学的研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することを目的とします。

2. 修業年限

標準修業年限は3年です。

3. 履修方法

単位の修得

基盤科目の1科目2単位以上、専門科目の2科目10単位、合計12単位以上を修得しなければなりません。

4. 修了要件および授与される学位等

1) 修了要件

博士後期課程の修了要件は、在学年数3年以上、授業科目の取得単位数12単位以上とし、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格することとします。

2) 学 位

上記1.の要件を満たした者に対し、博士（保健学）の学位を授与します。

5. 教育課程および履修一覧表・特別研究テーマ

〔保健学専攻 博士後期課程〕

	授業科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
基盤科目	保健学特講Ⅰ	1		2	
	保健学特講Ⅱ	1		2	
	保健学特講Ⅲ	1		2	
	保健学特講Ⅳ	1		2	
	保健学特講Ⅴ	1		2	
専門科目	保健学特別演習	1	2		
	特別研究	1・2・3	8		

特別研究テーマ

特別研究テーマ	領 域	指導担当者
地域職域における生活習慣病予防、フレイル介護予防、健康寿命延伸および健康で安全安心なコミュニティづくり	広域看護学	桂 敏樹
看護職（保健師等）の職務満足度の構成要素と職務満足度に影響を及ぼす要因	広域看護学	玉井公子
災害関連死を減らすための二次避難所構想を基にした災害対応システムの開発：西洋医学・東洋医学の知見から	広域看護学	三谷智子
同種造血幹細胞移植に伴う呼吸機能低下の実態と呼吸機能低下予防のための看護ケアの検討	臨床看護学	今井理香
地域社会における防災体制の構築と日常的な健康促進事業の有機的関連性	救急救命学	智原栄一
水難時生還技術と豪雨災害避難行動の学術的統合による自主防災体制の策定	救急救命学	木村隆彦
病院外心停止記録、救急搬送人員記録、救急に関する意識調査等のデータを用いた蘇生科学研究	救急救命学	平出 敦
地域住民やアスリートの運動・動作がパフォーマンスに及ぼす効果について	柔道整復学	齊藤昌久
身体運動におけるウォーミングアップが生理機能および運動パフォーマンスに与える影響の解析	柔道整復学	林 知也
生活習慣病等の予防に対する鍼灸医学を応用したアプローチ	鍼灸学	廣 正基
東洋医学の診察・病の判断・治療法や養生法の有用性における科学化	鍼灸学	和辻 直
運動機能障害系を中心としたリハビリテーション医学領域	リハビリテーション医学	木村篤史
運動習慣と加齢性変化・廃用性変化の解析	データ・サイエンス学	渡邊康晴

IV 博士後期課程 募集要項

1. 募集人員（修業年限3年）

研究科名	専攻名	募集人員
鍼灸学研究科	鍼灸学専攻	4名
保健医療学研究科	保健学専攻	2名

(注) 入学定員にかかわらず、本大学院の目的および趣旨に鑑み成績・人材等が相応しくない者は入学を許可しません。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者、または2026年3月取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位〔学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下この条について同じ。〕に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本大学院の個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳以上の者

(注) 上記(6)に基づき出願を希望する者は、あらかじめ本学入試事務室までお問い合わせください。
なお、本大学院において入学資格審査の実施を希望する者は、指定された期日までに当該審査の受審申請が必要です（P. 30参照）。

【鍼灸学専攻】

- 1) 鍼灸臨床医学分野を志願する者は、原則としてははり師・きゅう師免許を有する者、または2026年4月取得見込みの者としします。(入学許可後において、はり師・きゅう師免許を取得できない者は、伝統鍼灸学または鍼灸基礎医学への分野変更、入学許可の取り消しを行います。)
- 2) はり師・きゅう師免許を有しない者で本大学院を志願する者は、鍼灸医学の隣接科学を専攻した者であることが望ましく、指導教員と調整のうえ、取得している免許、学位等に応じた専攻分野の選択としします。

【保健学専攻】

原則として医療資格を有する者、または2026年4月取得見込みの者が望ましい。

3. 試験日程等

1) 試験日程・会場

試験区分	出願期間（消印有効）	試験日	試験会場
一 次	2025 年 10 月 1 日(水) ～10 月 9 日(木)	2025 年 10 月 18 日(土)	明治国際医療大学 〔京都府南丹市〕
二 次	2026 年 2 月 18 日(水) ～ 2 月 27 日(金)	2026 年 3 月 7 日(土)	

2) 合格発表・入学手続締切日

試験区分	合格発表	入学手続締切日
一 次	2025 年 11 月 4 日(火)	2025 年 11 月 18 日(火)
二 次	2026 年 3 月 13 日(金)	2026 年 3 月 23 日(月)

4. 選考試験

筆記試験、口頭試験の結果を総合して可否を判定します。

1) 科目・配点

試験科目等	出題領域	配点
専門科目	志望する専攻分野のコースの研究課題に関連する科目を解答する	100点
外国語	英 語（辞書持込み可）	100点
口頭試験	志望の動機、研究計画及び専攻分野に関すること	100点

※外国語の試験で持込み可能な辞書は、和英・英和・英英・医学英語辞書に限ります。

以下の条件をすべて満たした場合のみ、電子辞書の使用を許可します。

- ・電子辞書の持込みを希望する者は、事前申請を行ってください。
- ・申請書により事前申請した電子辞書のみ使用を認めます。
申請書には電子辞書の「メーカー名」「商品名」「型番」を明記し、写真を貼付してください。
電子辞書は通信機能、翻訳機能、スキャン機能のないものに限りします。
- ・申請期限は、受験する試験日の出願締切日（消印有効）とします。

なお、次の条件を満たす場合は、「外国語」を免除します。

「外国語」免除基準

資格・検定試験	スコア
ケンブリッジ英語検定	140 以上
実用英語技能検定	1950 以上
GTEC	960 以上
IELTS	4.0 以上
TEAP	225 以上
TEAP CBT	420 以上
TOEFL iBT	42 以上
TOEIC L&R/S&W	1150 以上

※利用できる英語資格・検定試験の種類は1つのみとします。

※資格・スコア取得を証明する書類（実施団体が証明する正式文書のコピー）を提出してください。

※出願期間のいずれかの日が、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内にあるものに限り
ます。

※英語4技能検査の判定を用いる際は、4技能すべてが評価されているものに限り
ます。

については、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算したスコアで判定します。GTEC は、OFFICIAL SCORE CERTIFICATE を提出してください。

2) 試験時間

9:50～10:00	10:00～11:00	11:20～12:20	13:10～※
受験上の説明	専門科目	外国語	口頭試験

※口頭試験の開始時間は、予告なく変更する場合があります。

5. 受験に関する注意事項

■受験票について

受験票は、Post@net からダウンロード・印刷してください。試験日・試験会場・志望専攻などの記載事項を確認のうえ、必ず試験当日に持参してください。スマートフォン等端末での受験票提示では受験できません。

■試験室への入室

- (1) 「受験上の説明」開始 10 分前までに入室してください。
- (2) 試験開始後 20 分を経過すると入室できません。また、途中退室はできません。

■試験時の注意

- (1) 試験時間中に机の上に置けるもの

①受験票 ②黒鉛筆および鉛筆キャップ ③シャープペンシル ④プラスチック製の消しゴム
⑤鉛筆削り（電動式・大型のものを除く） ⑥時計（辞書・電卓・端末等の機能がないもの）
⑦眼鏡 ⑧ハンカチ ⑨目薬 ⑩ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）
⑪和英・英和・英英・医学英語辞書（外国語試験時のみ・電子辞書は申請者に限る）

- (2) 試験時間中に使用できないもの

①定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む） ②コンパス ③電卓 ④そろばん
⑤下敷きやグラフ用紙等の補助具 ⑥筆箱 ⑦電子辞書 ⑧携帯電話 ⑨スマートフォン
⑩スマートウォッチ・スマートグラス ⑪IC レコーダー・イヤホン等の電子機器類

■不正行為について

以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と判断された場合は、その場で受験の中止と退出を命じ、それ以後の受験はできません。また、受験した試験区分の成績を無効とし、入学検定料の返還はいたしません。原則として、当該年度における全ての入学試験の受験を認めません。

- (1) カンニング（試験時間中に、カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見ることや、他の人から答えを教わる等）をすること
- (2) 試験監督者の試験開始の指示の前に、問題冊子を開き、解答を始めること
- (3) 試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- (4) 試験時間中に、使用が認められていない用具を使用して解答すること
- (5) 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を身につけている、または机の上に置いていること
- (6) 試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと
- (7) 他の受験者に答えを教える等、カンニングの手助けをすること
- (8) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- (9) 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること
- (10) 試験室において、他の受験生の迷惑となる行為をすること
- (11) その他、試験の公平性を損なう行為をすること

■その他

- (1) 試験会場が本学の場合、試験当日は、JR 桂川駅・阪急桂駅からの直通バスは運行していません。JR 等公共交通機関を利用のうえ来場してください。
JR の運行状況により、途中の園部駅にて車両の切り離しが行われ、乗り換えが必要な場合があります。また、鍼灸大学前駅では、降車の際に限られた車両のドア（先頭車両の一番前のドア）し

か開閉されない場合がありますので、車内放送に十分注意してください。

- (2) 口頭試験はオンラインで行う場合があります。
- (3) 悪天候や交通機関の乱れ等で遅刻等が予測される場合や、急な発熱等により受験できない場合には、速やかに入試事務室（TEL 0771-72-1188）までご連絡ください。
- (4) 不測の事態により大学で対応措置を講じる場合には、Post@net に登録されたメールアドレスに連絡します。
- (5) 会場入口付近等で、賃貸マンションのパンフレット類等が配られていることがありますが、本学とは一切関係ありません。

6. 出願手続き

1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
受 験 者 調 査 票 [本学所定用紙]	本学所定用紙にて作成してください
履 歴 書 [本学所定用紙]	本学所定用紙にて作成してください
修 士 の 学 位 取 得 (見 込) 証 明 書	出身大学の学長または研究科長が作成したもの ただし、大学院修士課程修了以外の資格で出願を希望する者についてはその資格を確認できる書類を提出してください
成 績 証 明 書	出身学校長作成のもので開封無効
研 究 業 績 一 覧 [本学所定用紙]	注意事項をよく読んで記入してください
修士論文の写し、 またはこれに代わるべき 業績の写し	修士課程の修了論文またはこれに代わるべき業績の写し（別刷等）を提出してください
修 士 論 文 等 概 要 [本学所定用紙]	800字程度で記入してください 修士論文の写しを提出する場合には、本書類の提出は必要ありません
希望する研究計画の概要 [本学所定用紙]	注意事項をよく読んで記入してください
取 得 免 許 の 写 し	2026年4月取得見込みの者は登録済証明書を後日提出し、免許証交付後、直ちに提出してください（A4版に縮小）
長期履修学生申請書 [本学所定用紙]	長期履修学生制度を申請する者は、必要事項を記入の上、指導教員の面談を受け、押印を受けてください
電子辞書持込申請書 [本学所定用紙]	電子辞書の持込みを希望する者は、必要事項を記入し提出してください
資格・スコア取得を 証明する書類	英語資格・検定試験のスコアを利用する者は、実施団体が発行する正式文書のコピーを提出してください ※出願期間のいずれかの日が、それぞれの資格・検定試験が定めている有効期間内にあるものに限り ※英語 4 技能検査の判定を用いる際は、4 技能すべてが評価されているものに限り ※GTECは、OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください
そ の 他	入試事務室で必要と認める書類

※本学所定用紙は、Post@netからダウンロードしてください。

※外国籍者については、在留資格を確認できる書類（在留カードまたは入国査証の写しのいずれか）を提出すること

2) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ(<https://www.meiji-u.ac.jp>)へアクセスし、手続きを行ってください。
詳細は、別紙「インターネット出願ガイド」をご参照ください。



出願サイトへ

窓口での提出

出願書類一式を市販の封筒(角2サイズ)に入れ、本学入試事務室受付まで持参してください。
【受付時間】 午前10:00～午後4:00まで(土・日・祝を除く)

3) 入学検定料 30,000円

7. 合格発表

1) 合格発表

合格発表については、WEBによる合否結果照会サービスを利用して行います。
合格者には、合格発表日(P.25)に、「選考結果通知書」および「入学手続書類」を郵送します。
※不合格者には郵送による通知は行いません。
※電話や窓口でのお問い合わせには応じられません。

2) WEB(パソコン・スマートフォン)による合否結果の照会方法

- ・合格発表日の午前10時から3日後まで利用できます。
- ・Post@netへログインし、「出願内容一覧」より明治国際医療大学の「合否結果照会」を選択してください。

※合否結果照会サービスについての注意事項

- ・発表開始直後はWEBがつながりにくいことがありますが、その場合は少し時間をずらして再度照会してください。
- ・「合否結果の見間違い」「システムの誤操作」等に対して、本学は一切責任を負いません。

8. 入学手続き等

1) 入学手続き

1. 合格された方は、各試験の入学手続締切日までに必要書類を提出し、学納金を納入してください。
また、学納金について、ご相談がある場合は入試事務室(0771-72-1188)までご連絡ください。
2. 学納金の納入および必要書類の提出を確認した後、「入学許可書」を送付いたします。

2) 学納金

項 目	1 年次 所要経費		2 年次以降 所要経費	
	入学手続時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	200,000 円	—	—	—
授 業 料	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円
計	600,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円

※学校法人明治東洋医学院の設置する学校の出身者には、入学金を免除します。

その他諸費

項 目	金 額	備 考
教育振興会費	30,000 円	入学時のみ
学生教育研究災害傷害保険料	2,650 円	

※その他諸費は予定であり変更となる場合があります。

3) 奨学金制度等

1. 日本学生支援機構

	第一種奨学金(無利息貸与)	第二種奨学金(有利息貸与)
貸与月額	80,000円または122,000円	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

(2025年4月1日現在)

2. ティーチング アシスタント(TA)制度

本学大学院では、在籍する優秀な大学院生を対象に、教育的配慮のもと学部教育・研究の充実及び指導者としてのトレーニングの機会の提供を目的として、学部学生に対する実験・実習等の教育補助業務を行う、ティーチングアシスタント(TA)制度を設けています。
従事者には、手当を支給し、大学院生の経済的支援を行っています。

4) 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限である3年間では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、最長4年間で計画的に教育課程を履修し、修了する制度です。

本制度の利用を希望する場合は、出願時に所定の手続きが必要となります。所定の手続きを経て認められた場合に、修業年数を4年とする履修コースを選択することができます。なお、長期履修学生の学納金は、次のとおりとします。

【4年間の長期履修の場合】

項 目	1 年次 所要経費		2 年次以降所要経費	
	入学手続時納入	後期納入	前期納入	後期納入
入 学 金	200,000 円	—	—	—
授 業 料	300,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円
計	500,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円

※学校法人明治東洋医学学院の設置する学校の出身者には、入学金を免除します。

その他諸費

項 目	金 額	備 考
教育振興会費	30,000 円	入学時のみ
学生教育研究災害傷害保険料	2,650 円	

※その他諸費は予定であり変更となる場合があります。

5) 入学辞退の取扱い

入学手続きを完了された後に入学を辞退する場合は、2026年3月23日(月)までに入試事務室へ連絡のうえ、所定の手続きを行ってください。入学金を除く学納金を返還します。

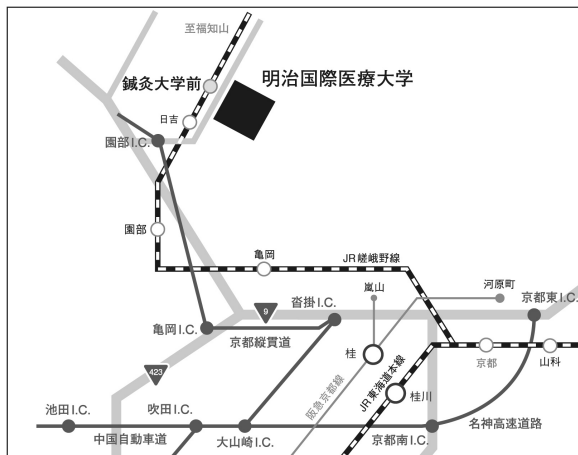
9. その他

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意してください。
- (2) 一旦提出された出願書類及び納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。
- (3) 本学大学院に入学を志願する方のうち、障がいの有する方で受験上または就学上の配慮を必要とする方は、出願開始日の2週間前までに本学入試事務室までご相談ください。なお、出願開始日以降に事故等により受験上または就学上の配慮が必要となった方は、速やかに本学入試事務室までご連絡ください。
- (4) 学生募集要項に関して、ご不明な点がある場合には、本学入試事務室までお問合せください。

試験会場案内

明治国際医療大学 試験日：10/18(土)・3/7(土)

所在地：京都府南丹市日吉町 TEL：0771-72-1188



交通

- ・ JR 京都駅から山陰本線(嵯峨野線)で鍼灸大学前駅下車、徒歩すぐ
(京都駅からの所要時間約 60 分)
ただし、途中の園部駅で乗り換えが必要な場合があります。
- ・ 車でのご来校も可能です

2026 年度 入学資格審査実施要項

明治国際医療大学大学院が実施する入学試験に出願を希望する者で、入学資格審査を要するもの(2. 出願資格 修士課程(8)・(9)、博士後期課程(6)に該当するもの)は、学校教育法施行規則第 155 条の規定による入学資格審査を事前に受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めるものとします。

1. 申請手続き

(1) 申請書類

- ① 入学資格認定申請書(本学所定用紙)
- ② 学習歴等の調書(本学予定用紙)
- ③ 最終出身学校の卒業(修了)証明書・成績証明書
- ④ その他本学が審査等に必要と認めた書類

※本学所定用紙は、ホームページよりダウンロード・印刷してください。

(2) 申請期限

試験区分	申請期限
一次	2025 年 9 月 2 日(火)
二次	2026 年 2 月 3 日(火)

(3) 提出先

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 明治国際医療大学 入試事務室

※ 提出された書類は返却いたしません。

2. 出願資格

修士課程

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者、または 2026 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本大学院の個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 22 歳以上の者

博士後期課程

- (1) 修士の学位を有する者、または 2026 年 3 月取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位〔学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下この条について同じ。〕に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本大学院の個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳以上の者

3. 審査及び結果の通知

審査は本学大学院委員会が行い、その結果は当該入学試験の出願開始日までに、書面により通知します。

個人情報の取扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施(出願処理・試験実施)、②合格発表、③入学手続、④入学前教育、⑤個人を特定することができない方法による統計的集計、⑥入学後の学籍管理、学修指導および学生支援関係業務を行うために利用いたします。なお、志願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

◆ お問い合わせ ◆

明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188 (入試事務室直通)
E-Mail: admission@meiji-u.ac.jp



入試概要へ